

竜閑天梨流 はみだしがち幸福論

0 1 . アメリ・リューカンの素晴らしい運命

【天梨】

「ハミダシクリエイティブ」

【天梨】

「おはよー……ん？」

【天梨】

「おはよ！　ねねね、なにしてるの？　あ、ゲームだ？　邪魔しないほうがいい？」

【天梨】

「えっやめちゃうの？　ごめんね、邪魔しちゃって……え、くつついてもいい？　えーっ嬉しい！　じゃあとなりいく！」

【天梨】

「えへへ、やーさしー……」

【天梨】

「あ、ごめんねポテト。あとで遊んであげるから、今はちよっと二人でお話させて」

【天梨】

「ね。ごめんね、あとから起きてきちゃって。でも昨日の夜、すっごく激しかったから……えへへ、気持ちよかったよ。声、いっぱい出ちゃった。でも、すーっごくエッチだったね！」

【天梨】

「ね、ね、腕に抱きついちゃってもいい？　こういう時間大好き……一日中くつついてたいなあ」

【天梨】

「え、行きたいところ？　今は特にないよ」

【天梨】

「私だって、せっかくのお休みにいつも出かけたいわけじゃないよ。たまにはおうちで、好きな人とゆっくりした時間を過ごしたい一日もあるし……ん？　話のネタ？　そーだなー……」

【天梨】

「あ、じゃあさ？ 思い出話とかどう？ ダマ学いたところとかの。実は昨日の夜も、シャワー待ってる間、昔の画像見て、まだ片思いだったころのこと思いだしたりして……付きあいはじめのころのこととかも。まだかいちょー呼びだったころ」

【天梨】

「私は片思いして必死だったから、あのころのことよく覚えてるけど……『かいちょー』は私に対してそんなでもなさそうだったからなー」

【天梨】

「あははっ、ごめんね意地悪言って。ぜんぜん！ 追いかけてるのも楽しかったし！」

【天梨】

「あ、でも、あのときどう思ってたのかは聞きたいなー。私の大切な思い出、覚えてるかも気になるし。ね？ かーいちょ？」

【天梨】

「あ、じゃあさーこれ見て。この写真覚えてる？ そう、かのちんと3人で花火大会行ったときの。あのときの帰りの電車でさー……」

0 2. ねねね花火大会の帰りに満員電車でくっついてたの覚えてる？

【天梨】

「じゃ、じゃあ、空いてたら椅子で、無理そうなら角ね！ だっ、大丈夫！ こういうの慣れてる！」

【天梨】

「で、でも私とかのちん、下駄だから、走るの遅かったらごめんね……か、かいちよー、はぐれないでね！」

【天梨】

「あつきた……えっ椅子空いてない！ えーっ……あっ、前の駅まで歩いて乗ってきた人がいるんだ……えっえっどうしょー！ えーっ」

【天梨】

「と、とりあえず角狙うね！ あっ待ってかいちよー……あっ、あーっ！」

【車掌】

「本日はチェイアールぴがし日本をご利用いただき、ありがとうございます。この電車は東海道ほん線ひがしみやこ行き、次はちちがさき、ちちがさきに停車します。本日は、ぴらつか海岸で行われた花火大会からお帰りになるお客様が大勢ご乗車されているため、車内が大変混雑しております。手すりなどにつかまり、お客様同士押しあわないようご乗車ください。えー次はちちがさき。次はちちがさきー」

【天梨】

「かつ、かいちよーありがと……角とれたのに、譲ってくれて……でもあの、かいちよー大丈夫……？ 背中、すっごくキツそう……てゆか、重そう……」

【天梨】

「そ、そんな、無理して踏ん張らなくていいよ！ あと一歩分前へ出れば、少し余裕できるし……ふじしやわまでたった2駅だし！ か、かいちよーが嫌じゃなければ、もっとこっち寄って？」

【天梨】

「うん……そのほうが、周りの人も助かるだろうし……かいちよーの背中に負担かかりすぎてるし。ね？ 私のうしろの棒につかまる？」

【天梨】

「あつただ、私、かなり汗かいてるから、くっつく
と気持ち悪いかもしれないけど……ごめん」

【天梨】

「わっ！ や、やっぱり肘で体支えて踏ん張るの大
変だったんだね。い、いいよ、もっとこっちに寄
りかかって……え？ いい匂いする？ あ、あり
がと……」

【天梨】

「か、かのちん、どこらへんにいるんだろうねー？
足痛そうだったし、押しつぶされてないとい
けど……え？ 座ってる人の中にかのちんの頭が
見える？ かのちん、座れたんだね、よかつ
たー」

【天梨】

「はー、毎年混雑するのはわかってたけど、この時
間に電車で帰るのは初めてだからな……ん、去
年？ うん、読モ仲間の子のカレシが車出してく
れて……んっ」

【天梨】

「クラスの子と他の花火大会行ったときは、近くの
お店入って、混雑なくなるまで時間つぶしたりし
てたから……あつ、かいちよーの帰る時間のせい
じゃないよ！ 突発で花火大会行こうって言った
の私だし、気にしないで……ね？ いい思い出に
なったし！」

【天梨】

「んっ……あ、い、いいよ、もっとくっついちゃって……うん、私の背中へ手を回すかんじで……うん。つかまって」

【天梨】

「んっ……はっ、んっ、んう……か、かいちよー、足大丈夫？ うん、私は平気……んっ！ あ、ごめん、ちよっと窮屈で……あ！ いいよいいよ！ ぜんぜんいいよ！？」

【天梨】

「もっと、その……ぎゅって抱きついちゃっても……あ、こ、こんな状態だからね！？ えと、ヒジヨージタイだからね！」

【車掌】

「この先大きく揺れますのでご注意ください」

【天梨】

「わっ、わーっ！ わっ、揺れ……んぶっ！
かつ、かいちよー、ごめん！ かいちよーも不安定なのにしがみついちやって……んっ！ はあっ、大きく揺れるとヤバイね……んっ」

【天梨】

「はあっ……ん、ダイジヨブ……かいちよー、もつとキツイんだし……壁になってくれてるし……はあっ……」

【天梨】

「あ、で、でも……かいちよーの顔が近すぎて、ドキドキはする、かな……」

【車掌】

「まもなくふじしやわー、ふじしやわに着きます。停車の際は、他のお客様と押しあわないよう、ゆっくりとお降りください」

【天梨】

「あっ！ も、もう次の駅だね！ きっと降りる人いるよね。そしたらかのちんの座つてるところまで、場所移動しよっか……」

【天梨】

「あれっ！？ ぜんぜん降りないね！？ どころか、もっと乗ってき……ふええ降りないどころか窮屈に！ むぎゅう……」

【天梨】

「か、かいちよー、足……んっ！ あ、へ、平気、私の足の間に、ちよっとかいちよーの足が……う、うん、ぜんぜん大丈夫！」

【天梨】

「あっ……発車しちゃった……んっ、で、でも次で降りるしね！ あと1駅くらい我慢できるよね……」

【天梨】

「ぴらつかからちちがさきよりも、ちちがさきからふじしやわのほうが長いんだけどね……あはは……」

【天梨】

「それに、我慢ってわけでもないし……あ、えと、なんか二人でこうして花火大会の帰りに満員電車で押しつぶされるのもセーシュンっぽくない！？ なんて……んむっ！」

【天梨】

「んっ……ごめん、さっきからかいちよーの胸に顔押しつけちゃって……顔、潰れてブサイクになってないといいな……」

【天梨】

「えっ浴衣着てるの、かわいい……えっええっ、そ、そーかなー！ あ、な、なんだろ、か、かいちよー、こういうの好きだったりする？」

【天梨】

「か、かいちよーがそう言ってくれるなら、着てよかったよー。やっぱり花火見るなら浴衣がいいなと思ったからさー！ んぶっ！ あ、あはは、ちよーし乗ってバランス崩した……でも、嬉しい」

【天梨】

「かいちよーとかのちんと花火見て……こうして同じ電車で帰るのが嬉しい……」

【天梨】

「んっ、で、でも、ここまでの混雑は予想してなかったねー……やっ、んっ……ふうっ……て、てゆか暑いねー！ もしかして車内、クーラー効いてない？ なんてことないかー……単に人が多すぎるだけだよな」

【天梨】

「か、かいちよーの制服に、汗ついちゃわないといけど……ご、ごめんねー。私、そんなに汗かくほうじゃないんだよー。ほんとだよ！ そ、その、今はけっこう……浴衣びっしりだけど……」

【天梨】

「わっ、またカーブ！ わわっ、ごめん、かいちよー……やっ！ やばっ、足っ……こけ、こけるっ……！」

【天梨】

「わっ！ あ、ありがとかいちょー、つかまえてくれて……いま抱きしめてもらえなかったら、ちよつとヤバかった……」

【天梨】

「んっ、で、でも、あの……ちょ、ちよつと照れちゃうね。私、薄着だから……かいちょーの力、じかに伝わってきて……」

【天梨】

「あっ！ よ、よけーなと言ってたらごめんね！ あっ、ううん……まだ不安だから、かいちょーに抱き……つかまえてくれたままのが嬉しい……」

【天梨】

「うん……かいちょーが辛くなければ、次の駅まで、このままがいい……う、うん、すごく安心できる……」

【天梨】

「か、かいちょーの指……やっぱり男の子だね、固くて、力強くて……」

【天梨】

「男の子にこうやって守ってもらうの……ちよつと憧れてたところあった。いい夏の思い出できたかも……」

【天梨】

「今まで、花火大会って、見るときが一番楽しくて、帰りはちよつと寂しくて、でもそれがいいのかなーって思ってたけど……」

【天梨】

「今度からは帰り道も好きになれそう……思いつき
で言ってみたけど、かいちよーといっしょに花火
大会来られてよかった……」

【天梨】

「来年もいっしょに花火観に行こうね……あ、か、
かのちゃんもいっしょにね！」

03. 幕間・わんこのしあわせ

【天梨】

「ね、あの花火大会楽しかったよね。『セーシュン！』ってかんじしてた」

【天梨】

「え？ いきなり言いだすからびっくりした？
えーでも3人で……かいちよーと出かけるなら今
しかないと思ってさー」

【天梨】

「ん？ ううん、かいちよー目的で行きたかったわけじゃないよ。あのときは、シンプルに3人で出かけたかっただけ。できれば生徒会全員で行きたかったし……」

【天梨】

「……でも、かのちんがコンビニ行ってから……意識しちゃって、けっこうがんばったかな！ 後半はわりと積極的にアピってたかも」

【天梨】

「なんか友達にそうやって気を利かせてもらうのも初めてだったし……片想い、楽しかったからね！
大好きになりかけてた『かいちよー』と二人きりになったときはすっごくドキドキした！」

【天梨】

「電車の中でも身体密着しちゃってさー。もー心臓の音伝わらないか心配だったよー」

【天梨】

「え！？ あのとき、すっごくドキドキしてたからね、私！？ ぜんぜんいつも通りじゃない！ いつも通りじゃなかったよ！？」

【天梨】

「えー！？ もー汗かいてメイク崩れてるし、疲れてて表情作れないし、めーっちゃ焦ってたんだからねー！ 恥ずかしかったんだよ、すっごくー！」

【天梨】

「……でも、まだ付きあってなかったところに『かいちょー』の身体に触れるのは、ときめいたなあ……だってほとんど抱きしめられてたし……顔近いし、声近いし……」

【天梨】

「私を守ろうと強めに、でも大切に扱ってくれてるのがわかる手を力だったからさー」

【天梨】

「え？ わかるわかる。バランス崩れたとき以外は、脇とか下着の上とか……お尻とか触らないようにしてるの伝わってきたよ。エロいこと我慢してるのかなーって」

【天梨】

「あ、ごめんごめん！ やっ、だって私もすっごく緊張して……でもちよっと期待してたから……あはは、ごめんってば！」

【天梨】

「ありがとね。私の身体が他の人に触れないよう、押し潰されるの耐えながら守ってくれた、あの日の『かいちょー』カッコよかったよ」

【天梨】

「ちゅっ」

【天梨】

「はー、花火大会の話したら、片想いのころの気持ち思いたして、けっこうドキドキしちゃった……」

【天梨】

「あ、じゃあさ？　ねねね、あれ覚えてる？　両想いになってからだけど、すっごくドキドキした……まだ生徒会だったころの体育倉庫！」

【天梨】

「ね、あれヤバかったよね！　体育祭の準備してたら閉じこめられてさ……そそそ、ジャージ着て。けっこう長い時間放置されてたし……」

【天梨】

「あんな経験、二度とないだろうから、大変だったけどいい思い出だなーって！　10月の半ばだった……まだ付きあって1カ月経ってないくらいのこと——」

0 4 . ねねね体育倉庫に二人で閉じこめられたときあったよね！

【天梨】

「15、16、17……18！ うん、ボールの数
オツケー！」

【天梨】

「ふー……あとなんだっけ？ ハードルの数？
ハードルって、あの陸上で走るときに置くやつだ
よね。数えるの一番大変そうなやつ最後に残し
ちゃったね、あはは……」

【天梨】

「あ、でも、かいちよーと二人だからぜんぜん楽し
い！ ううん、いっしょにお仕事やるって立候補
したの、私だし……生徒会のお仕事好きだから、
嫌でも面倒でもないよ！」

【天梨】

「てゆかお仕事ではあるけど、かいちよーと二人き
りだね、今……へへ」

【天梨】

「ね……ねねね、お仕事ちょっとだけお休みしてお
話しない？ お仕事にも休憩って必要じゃな
い？ せんせー来ても大丈夫なように……その
跳び箱の陰で、手繋いで座りたい！」

【天梨】

「え、いいの！？ ありがと、かいちよー優しい……
…5分……ううん、10分だけ休んだら、ちゃん
とお仕事するから！」

【天梨】

「じゃあこのあたりで……えへへ、かーい
ちよっ！」

【天梨】

「えーっ、やばーい！ これやばくない！？ えっ
えっガッコの中でくつつくの、やっぱいくらいド
キドキする……」

【天梨】

「えーっちょっとこういうの憧れてたから、コーフ
ンやばい……みんなまだガッコの中いるのに、か
いちよーと二人きりでくつつくなんてさー」

【天梨】

「えーっ……ごめんね、コーフンしちゃって……
えっまだドキドキとまんない……やばいこれ普段
よりやばい……」

【天梨】

「あ、あの、さ。かいちよーは、ど？ ガッコの中
とかってさー……」

【天梨】

「なんかねー、みんなさー、ちょっと人気の先輩と
かが体育の時間でグラウンドにいるとー、すっご
く見たがるし、写真とか撮りたがるんだよね」

【天梨】

「私その感覚、ぜんぜんわかんなかったんだけど、
今になってそれめっちゃわかる……ジャージ着て
るかいちよー、よすぎ……好き、すっごく好き……」

【天梨】

「えー、なんかガッコの中でいつもと違う服着てる
だけで、特別感あるっていうか……それに普段
生徒会長のお仕事してるとお固い感じだから、
ラフなガッコはギャップがあるっていうかー」

【天梨】

「何より、そんなかいちよーと二人きりなのがやばい！ いますっごくアガってるのが自分でもわかるもん！ ぎゃー！」

【天梨】

「ね……ねねね、かいちよー……あの、いま……二人きり、じゃない？」

【天梨】

「えと……ガツコの中で、その……なんだけど、かいちよーがそういうの抵抗なければ……手、手とか繋いじゃう？」

【天梨】

「えっ、いいの！？ じゃ、じゃあ握っちゃうね……えへへ……」

【天梨】

「えーっこれやばーい！ ガツコの中なのにやばーい！ お仕事なのにやばーい！ えーっやばすぎー！ えーっ！」

【天梨】

「えっめっちゃ恥ずかしい！ なのにすっごくドキドキする……えーっみんなの見てないところで、かいちよーとこっそり手繋ぐのやばいよー」

【天梨】

「なんか外で手繋いで歩くのとは違うドキドキのしかたしてる……二人だけの秘密ってゆーか……」

【天梨】

「なんかね、みんなけっこーガツコの中のいろんな場所で、こっそり二人きりになったりしてるみたいでー。一瞬だけぎゅってしてもらったり、おでこにキスしたり」

【天梨】

「場所は屋上だったり、校舎裏だったりするみたいだけどー。その手の話が出るたび、てきとーに聞き流してたけど、今、その子たちの気持ち、めーっちゃわかる！ くーっ！」

【天梨】

「え？ あ、ぎゅってして……あ、おでこ……え、えっ？」

【天梨】

「私がいま、言ったから……？ あ、あははは……がつついてるように聞こえちゃったかな？ 嬉しいけど……ときめく」

【天梨】

「わ、私もする……」

【天梨】

「ちゅっ」

【天梨】

「えーっ、すっごく高まる……やばいねー、ガッコの中で抱きしめてもらうの。別にスリルを求めているわけじゃないけど……二人だけの秘密、ドキドキする」

【天梨】

「え、生徒会室？ これ以上のこと……えっ、えーっ！ やっもう、そんなのいま言わないでよー！ もーっ、かいちよーえろえろー。えろすぎー。えろいこと考えすぎー」

【天梨】

「えっ、えろいこと……えっえっえっええええーっ！ えっ、ここで？ えっ、ええーっ！」

【天梨】「あついや、嫌じゃなくて……えっぜんぜん考えてなかったってゆーか……」

【天梨】「あつこら！ やんっ、服ン中、手入れちゃだめ……やつ、くすぐった……もーっ、かいちよ……やつ、ひゃんっ！ んっ、はあっ……」

【天梨】「か、かいちよー、息あらーい……んっ、そういうかいちよー、実は好きだったりするけど……興奮してるそこ、好き……」

【天梨】「べ、別に嫌じゃないけど……やだったら言うし……できない日なら最初に言ってるし……やつ、あ、ああつ、やつ……せ、背中、汚れちゃわなかなー……マットの上なら平気？ それもそっか……」

【天梨】「えーっすっごくドキドキする……マットがベツドって……えーっガッコの中でやばいよー。ひーっ！」

【天梨】「やつ、かいちよー……好き……ね、キスしよー」

【天梨】「ぎゃーっ！」

【天梨】「えっなに！ なになに真っ暗！ 電源落ちた！？ えっ暗いよ狭いよ怖いよー！ えーっなに、えーっ！」

【天梨】

「えってゆか、なんか鍵かかる音しなかった！？
えっなにこれ閉じこめられた？ えっえーっ！」

【天梨】

「あ、うん、お願い……暗いから足元気をつけてね
……」

【天梨】

「えっ鍵かかってる？ えっなんでだろ、えーっ！
えっ？ 自動で？ あ、そ、そうなんだっ
け？」

【天梨】

「待って時間確かめる……あってゆかスマホ置いて
きちゃった！ え、かいちよーも？ ヤバくな
い！？」

【天梨】

「てゆーか、私たちここにいろの、ミリせんせー
知ってるはずだよね……えーっ守衛さんに伝え忘
れたのかな……えーっどうしよう、えーっ」

【天梨】

「えっ？ あ、怖くは……心細いのと、ドアに鍵か
かったとき、ちよつとびっくりしたかなーって……
……」

【天梨】

「あ……抱きしめてもらうと落ち着く……ってゆか
安心する！」

【天梨】

「えーっ、かいちよー男らしすぎー。こんなときに
男らしさ見せるのズルすぎー。エロいのに男らし
いのズルすぎー。なんかもうすっかり暗いのも平
気みたいなの？」

【天梨】

「もしこのまま朝まで閉じこめられても、かいちよーといっしょならよくない？ とか思っちゃった。でもかいちよー帰ってこなかったらひよりんが気づくし、明日の朝までには出られそうじゃない？ あははっ」

【天梨】

「それなら、うん……せっかくかいちよーと二人きりだし、いけないことしちゃう？ かいちよーの顔見られないのは残念だけど、暗いと、やっぱり、そんな気にはなるし……」

【天梨】

「えっ？ えーっ！ わ、わたしはエロくないよー！ だってかいちよーが先に……えーっかいちよーひどーい！ エロいのにひどすぎー！」

【天梨】

「あ、やっ……！ やっ、かいちよー、だめえ……はっ、はあっ……んっ。あっ、やっ……おへそくすぐりたい……」

【天梨】

「はあっ、はっ、はあっ……やっ、もう暗いからって……ブ、ブラの中は……」

【天梨】

「て、てゆか、最後までするんだ？ 嫌じゃないけど、ゴムないのにヘーキかなーって……床ならまだいいけど、マットとかに付くとヤバくない？ お口でする？」

【天梨】

「えーっでも我慢できなくない？ 出さなくていいの？ 私はいいいけど……最後までしたくなっちゃうと困るけど……」

【天梨】

「んっ」

【天梨】

「ん……うん……くつつけるだけで充分だけど……えへへ、最後までできないってなると、余計エロい気分になってきたかもー」

【天梨】

「ね、もっかいキスしょ？ んむっ……んっ、ちゅっ、ちゅうっ……れろっ、ちゅっ……ぷはっ……えへっ」

【天梨】

「えっへっへ、かいちよーと体育倉庫でキスしちゃったー、へっへー。えーっやっぱ、興奮するねなんかいけないことしてるみたいでさー！ いけないことしてるんだけどね！」

【天梨】

「あっ、やんっ……！ かいちよー、手付きえろーい、えろすぎー。やっ、やんっ……！」

【天梨】

「あっやっ、パンツまで脱がせたら、誰かきたときに……！ も、もーっ！ わたし今、ブラとおしり丸出しで、ほとんど裸みたいだからねー！ ガッコの中でこんなカッコしてるなんて……暗くなかったらやばいよー、ひーっ」

【天梨】

「はっ、やっ、んっ……でも興奮する……あっ、やあっ……！ はっ、かいちよーの手付きえろすぎ……んっ！」

【天梨】

「はあっ、やんっ……最後までしたくなりそ……んっ！ はあっ、やっ、脇だめ……んっ！ やっ、もーっ……じゃ、じゃあ私も、かいちよーの、さわる！」

【天梨】

「えっ最後までしたくなる？ んーでも、なにもしないのもかわいそうだし……いざとなったら、く、口の中だしちゃえばよくない？ うん、全部飲めるし！」

【天梨】

「えーっそんな、我慢しなくていいよ……あっ。ほら、ねーっ、こんな大っきくなってるし……」

【天梨】

「き、気持ちいい？ 手で握るだけで気持ちいい？ ほんとに？ こうやってこするんだっけ……」

【天梨】

「か、かいちよー、すっごく反応してる……やっぱり我慢できなかったんだね……ズボンの中きつくはない？ 出しちゃう？」

【天梨】

「あっ外出たら臭いでわかるねー。あ！ ううん、ぜんぜんいいよ！ そ、それに、それ言ったら、私だって自分の汗の臭い心配だし……」

【天梨】

「えっやだなにしてるの！？ あーっ舐めちゃだめ……だめっ！ やっ、ひゃんっ！ か、かいちよーだめえ……あっ、やんっ、きもちいい、けど……あっ、はあっ……」

【天梨】

「やつ、乳首吸わないで……やんっ！ 脇なめちゃだめえ……やつやあつ、あつ、やあつ、ひうんっ！ やんっ、はっ、やだ、やあ……えろいよおー……」

【天梨】

「か、かいちょーは？ かいちょのは舐めたげなくていいの？ 私、ぜんぜんいいよ？」

【天梨】

「待ってね、いま……ちゅっ、んちゅっ……あ、やっぱり気持ちいい？ えへへ……ちゅっ、れろっ……ちゅっ、れろお……ちゅっ……れろっ」

【天梨】

「んちゅうう……あむっ、んちゅ、んくちゅっ……んちゅ、んちゅ、くちゅっ……ちゅううっ……じゅぶ、じゅぶるう……んじゅっ、じゅぶるっ……」

【天梨】

「はっ、はあっ……いまこすったら絶対気持ちいいよ……ほら」

【天梨】

「えーっすっ」くえろい音するねー……やっぱ、私のほうが興奮する……ね、ね？ 出したくならないの？」

【天梨】

「ゴムないけど……入れちゃう？ 出すときだけ私の口の中で……うん、いいよ」

【天梨】

「ガッコの中で……ここでえっち、しちやお……？」

【天梨】

「……~~~~~~~~ツツツ……」

【天梨】

「えっえっえーついま鍵開いたよね鍵の音だよね！？ えっえーっ誰か来たのかなえっやばいかな服着たけど……えっえーっ臭いする！？ してる！？」

【天梨】

「ふえええ、ごめんかいちょー、悪ノリしすぎた……あっでも電気点かないし、誰も入ってこない……？ もしかして鍵開けただけ……？」

【天梨】

「あっ電気も点いた……こ、これからミリせんせーが来るかんじなのかな。あはっ、あははは……」

【天梨】

「てゆーか、いきなり電気点けられると恥ずいね……かいちょーの顔見られない……心の準備なしはやばいよー」

【天梨】

「せんせーに「ごめんなさい」しないとだね……えっ私たちは悪いことしてない？ あ、あー、そうかも……でもスマホ忘れちゃったしね……でも謝ると逆に怪しいか……うん、そうだね」

【天梨】

「でもやっぱりかいちょーにだけは謝るね。最後までさせてあげられなくてごめん……今日はもう帰らないとだもんね」

【天梨】

「次のお休み……ううん、明日の放課後はそのつもりでいるから。今日我慢した分も、いっぱいしよーねっ」

0 5 . 幕間・わんこのよろこび

【天梨】

「いま思うと、やっぱりこととしてたよねー……」

【天梨】

「学生だからできたみたいなの？ 若気の至りってゆーか……あはっ、あははっ……み、見つからなくてよかったよね！」

【天梨】

「私、あのあとミリせんせーの顔見られなくってさー。アレ絶対バレてたよね！ あっちがくてちがくて、エ、エッチしたのまでバレたんじゃなくて、いちゃいちゃしてたのが……って、やっぱりまあいだしても恥ずかしいねー！ ひー！」

【天梨】

「あのあとしばらく、体育倉庫行くのも恥ずかしくってさー……私の周りの子たちでも、さすがに体育倉庫ではー……」

【天梨】

「本音言うと、あの日の続きをいつかしたいなって、ちょっとだけ思ってたんだよね。『かいちょー』から誘ってくれないかなーって」

【天梨】

「あ、あははー。ねー、やばいよねー。『私ってかいちー以上にエロいじゃん！』って自分で思ったもん」

【天梨】

「……ね。あの場所で、あの続きしたかったりした？」

【天梨】

「そっかー。じゃあタイミングが合えば、しちゃってたかもね。真っ暗な密室に閉じこめられて二人きりなんて状況、そうそうあるものでもないけど……」

【天梨】

「あの日の夜はすっごくエッチしたかったよ」

【天梨】

「な、なーんてね！ ぜんぜん反省してないじゃん、私ー！ ガッコの中で……とか、いちおう悪いことしたんだからさー！ さ、最後まではしてないけど！」

【天梨】

「ん、んーまあ……制服着てる間に痛い経験のひとつもしておいたほうが、のちのちいい思い出になるよね！ てゆか今も、やばいやばい言いながら、思い出話するの楽しかったしー」

【天梨】

「ああいう『お外で』は、さすがに文化祭と体育祭のあとくらい……あ、あと、もうひとつ」

【天梨】

「二人でゆーえんち行ったときもヤバかったよね！ 学年上がる前に1回くらい思い切り遊んでおきたいよねって、お泊りデートしてさー」

【天梨】

「ね、湖畔のコテージとかすっごくインちゅた映えした！ 10万いいねくらいだったかな、お部屋もお料理も最高でさー」

【天梨】

「でもインちゅたには載せられなかった、二人きりの思い出……あるよね？」

【天梨】

「私と『かいちょー』が初めてお泊りした、付き合って3カ月目のクリスマス……遊園地でのお泊りデート」

06. えーっ観覧車で二人きりのときめっちゃドキドキした！

【天梨】

「か、かいちょー待って、ごめん、一旦止まって……あ、歩けなくなっちゃって……」

【天梨】

「てゆか、こんなにしがみつかれたら、かいちょーも歩くどころじゃないよね……ご、ごめんねー」

【天梨】

「あ、あれー？ おかしいなあ、私、普段はこんなにお化け怖がったりしないんだけど……暗いところとか、ぜんぜん一人で歩けるし……他の遊園地のお化け屋敷は普通に入れたし……」

【天梨】

「てゆーかお化け屋敷って、だいたい車みたいなのに乗って、全部自動で回らない？ 自分で歩くタイプなんて聞いてなかつ——」

【天梨】

「ぎゃーっ……!!」

【天梨】

「無理無理むりむり！ やーっ、かいちょー助けて！ やーん無理、えーっなにこれ怖いよー！ やだやだここ入るんじゃないかった！」

【天梨】

「やつ、もう無理、歩けない……ごめんかいちょー、ここで休憩させて……」

【天梨】

「はーっ……」

【天梨】

「ふええ、日本一怖いお化け屋敷だって聞いて、勢いで入っちゃったけど……こんなに、歩けなくなるくらいなんて聞いてなかったよー……」

【天梨】

「インちゅた映えすると思ったのに……あ、ううん。中で撮るつもりはなかったんだけど……このままだと、外へ出ても写真撮れなそう……私もう、かいちよーにしがみつくのが精一杯なくらい、へとへとで……」

【天梨】

「かいちよーは？ ぜんぜん怖くない？ かいちよーが頼りがいあってよかったよー。私ひとりだったら、絶対途中で歩けなくなって、外へ出られなくなってた……」

【天梨】

「そういえば……男の子とお化け屋敷入るの初めてだから、こんな風に頼れるのはちよっと新鮮かも……」

【天梨】

「こんなに怖いとは思ってなかったけど……かいちよーに守ってもらってるみたいで、ちよっとときめくかも。えへへ」

【天梨】

「ぎゃーっ！！！」

【天梨】

「もっと甘えたかったけど、やっぱり無理無理！ ふええごめんねかいちよー、もう目をつぶって、しがみつきなから最後まで歩かせて……」

【天梨】

「あ！ かいちよー、あそこ！ あそこのベンチに座って食べよ！」

【天梨】

「はーっ……今日は遊園地も込んでるね！ どっこのテーブルも空いてないんだもんなー」

【天梨】

「あ、でも、こんな風にベンチでおべんと食べるのもよくない？ セーシュン！ ってかんじするよね！」

【天梨】

「セーシュンっていうか……好きな人と遊びに来てるの実感できる……えへへ……」

【天梨】

「あつ。じゃ、じゃあ、おべんと食べよ！ 今日ねー、朝すーっごく早起きして、気合い入れてきてさー」

【天梨】

「あ、おべんとの画像、インちゆたに上げていい？ あ、うんー。作った時点ですぐに上げちゃうと、かいちよーにも見られちゃうからさー。やっぱり、蓋を開けて、初めておべんとの中身見たときの顔が見たくて、作ってるところある的な？」

【天梨】

「かいちよー、いつも嬉しそうな顔してくれるから、かいちよーと付きあえてよかったと思える。めーっちゃ幸せ。へへ」

【天梨】

「あ、てゆかね？ 前はパン買ってたけど、最近はお自分のお昼もおべんとだから、作るの楽しくなってきたとこあってー。おべんとの画像上げたりすると、ウケめっちゃよくってー」

【天梨】

「画像上げるとみんながアドバイスくれたりしてー。人気のあるおべんとブロガーさんのレシピとかめーっちゃ参考になってー。私もちよっと欲出てきたみたいなの？」

【天梨】

「クラスの子たちも、アメリカすげー気合い入ってんなーって誉められたりしてー。かのちゃんも感心してくれてー。『今度二人でお料理会する？』みたいに話しててー」

【天梨】

「でもやっぱり一番嬉しいのは好きな人の喜んでくれる顔だけだね！ かいちょーがおいしそうに食べてくれるから、モチベ続いてるところある。好きな人と二人でデートのお昼におべんと食べるの、けっこー憧れてた」

【天梨】

「そ、それとこれもけっこう憧れた……」

【天梨】

「はい、あーん」

【天梨】

「えーっ照れるめっちゃ照れる！ えーっ普段はかいちょー照れるかなって遠慮してるところあって……だからこそ、今日みたいな日は特別感あるってゆーか」

【天梨】

「えーっもう1個食べる？ はい、あーん。あ、こっちのかぼちゃも甘くておいしいよ。はい」

【天梨】

「えっ？ あ、私の……う、うんあの、かいちょーが食べさせてくれるなら……嬉しい」

【天梨】

「あーん」

【天梨】

「おいし！ 味見したときよりもずーっとおいしい！ 好きな人といっしょに食べると……食べさせてもらうと、こんなにおいしく思えるんだ……」

【天梨】

「もう、すーっごく幸せ！ えへへへ、ずうーっと顔にやけちゃうって！ やっぱーいこれ、えへへへ、えっへへへへ……」

【天梨】

「いつも喜んで食べてくれてありがとね。大好きー！」

【遊園地スタッフ】

「乗車の際、足元お気をつけください。ゴンドラ内では常に着席の上、お荷物、手から離さないように」ご注意ください。それでは1周12分です、いってらっしゃい」

【天梨】

「わ！ 風の音、すーっ！」

【天梨】

「窓開けないほうがいいね。お互いの声聞こえなくなっちゃう」

【天梨】

「はーっ……遊園地って言ったら、やっぱりこれだよね！ 私、観覧車が一番好き」

【天梨】

「ん、そう？ 私って、ジェットコースターとかの、動き派手めのアトラクションが好きそうってよく言われる。なんで観覧車好きそうって思ったの？」

【天梨】

「……うん、そう。好きな人と二人きりになれるから。私って恋愛拒否ってたくせに、恋愛したがつてたんだよね。自分でもやバくない？ って思うけど……」

【天梨】

「でも今、好きな人と二人で観覧車に乗って、すーっごくときめいてるから、言い訳なんてしなくていいや。へへ」

【天梨】

「あとはー、子どものころにお父さんお母さんと観覧車に乗って楽しかった思い出だったりー、あと昔見てた好きなドラマに観覧車のシーンがあったってのもある」

【天梨】

「うん、けっこう大切なシーンでー。観覧車の中で別れ話するんだけどー。お互い本音では別れたくなくてー」

【天梨】

「じゃあ観覧車が回り切るまでは恋人でいましてーうって言うってー。で、その時間が楽しすぎて1周回ったあとにそのまま乗り続けてもう1周しちゃってー。結局ヨリ戻すの」

【天梨】

「ま、そのドラマだと他にお客さんいなかったからできただけで、今日みたいに混んでたら2周目はできないけどね！」

【天梨】

「あ、ただうん……そのドラマだと、たしか……」

【天梨】

「わっわっ」

【天梨】

「二人の位置がこうだったかな」

【天梨】

「好きな人の顔を正面からガン見できるのもいいけど、こうやってくつつける隣が私は好きだな……」

【天梨】

「あつでも、二人とも同じ側に固まると傾いてる気がしてやばーい！ 立ちあがったとき、めっちゃ揺れたよね！ あははっ！」

【天梨】

「かいちよー、お化け屋敷より怖がってない？ 私？ 私は、昔から高いところ好きなんだー。揺れてもそんなに怖くないかも！」

【天梨】

「あつでも、怖がったほうがかいちよーにくつつけていいかも？ あ、ううん。お化け屋敷のはガチで。あれはほんと怖かったよー」

【天梨】

「今は、こうしてかいちよーにくつついてれば、ぜんぜん怖くない……てゆか、くつつくのヤじゃない？ 平気？」

【天梨】

「え？ えーっ！ 別に遠慮してないよー！ た、ただ、観覧車では、隣同士じゃなくて、向かいあって座ったほうが好きな人もいるかと思って……」

【天梨】

「もーっ！　じゃあくつつく！　めーっちゃ抱きつく！　さつきときめいてるって言ったけど……私、好きな人と観覧車乗るの、けっこう憧れてたからね！」

【天梨】

「後ろから……あ、この角度だとあんまり見えない！　上は屋根あるし……腕に抱きついちゃおーっと！」

【天梨】

「えっ？　あっ、かいちよー優しい……やっ、抱きついてるときに頭撫でられるの好き……」

【天梨】

「うわーっなんだろなんだろ、すーっごく幸せ覚える。えーっ遊園地デートで抱きつきながら頭撫でてもらうって最高すぎない？　やっぱーい、アガるアガる！」

【天梨】

「ね、ねー、かいちよー……もうちょっと上いったら、完全に外から見えなくなるし……キ、キスしちゃう？」

【天梨】

「えっえっいいの！？　えっやばーい！　すーっごくドキドキしてきた！　こんな空の中でキスするとか……ちょっといけないことしてるみたいで高まる！」

【天梨】

「い、いちお、もっかい外確認するね……うん、前後から見えない！　誰にも嫌な思わせせない、大丈夫！　それに中をよごすわけじゃないし……キスなら、施設にメーワクかけない……よね？」

【天梨】

「じゃ、じゃあ……んっ」

【天梨】

「ん……」

【天梨】

「はっ……えーやばーい！ 観覧車のキス、ドキドキすぎてやばーい！ 高まりすぎー！」

【天梨】

「えっ？ もう1回する？ う、うん、いいよ……んっ」

【天梨】

「んむっ！？ んっ、んちゅっ……ちゅっ、ちゅっ……はあっ、れろっ……んちゅっ、ちゅっ、れろお……ちゅっ、れろお……」

【天梨】

「ふはっ……はっ、はあっ……」

【天梨】

「え、えーっ！ 舌絡めてくとは思わなかった！ えーっかいちよー、1回目のときからエロいこと考えてたでしょー。もーっ、ここ観覧車なのに。エロすぎー」

【天梨】

「えっえっ、あっやっ、ふともも、撫でちゃだめ……！ あっ、やっ、くすぐりたいよお……だ、だめえ……か、かいちよーに迫られたら私、拒否れない……」

【天梨】

「はっ、はあっ……んっ！ あっ、スカートの中はっ……！ あっ、んっ、やんっ！ やあっ、かいちよー……む、胸はだめだからね……後ろからでも、何してるかわかったやうし……」

【天梨】

「はっ、あっ、やあっ……だ、だめだよ？ 下着の中は、手入れちゃだめ……あの、よごしちゃったら、次の人にもスタッフさんにも悪いし……」

【天梨】

「え、濡れて？ そ、そうだよ！ えっちな気分になってるんだから、当たり前じゃん！ も、もーっ、かいちよーのばかー！ エロい上にはるか！ で、でも、大好き……」

【天梨】

「あっ、やあっ……も、もうすぐてっぺんすぎちゃうし、ね？ 私も、もうちょっと続けてほしいけど、今夜、いっぱいできるから……ね、ねっ？」

【天梨】

「はーっ……もーっ、すぐエロに結びつけるんだから。もーっ、かいちよーったらエロすぎー。い、嫌では、ぜんぜんないけど……」

【天梨】

「二人きりになったら……今も二人きりだけど、誰にも見えない場所で二人きりになったら、もっといっぱい最後までしょーね！」

【天梨】

「はーっ……観覧車ですごい思い出を作っちゃったあ……でもこうして腕に抱きついてくっついてるのがめーっちゃ幸せだから、最高の思い出！ へっ」

【天梨】

「あれ？ てゆか、前の人ら、がっつきスしてるじゃん！ あ、あーっ、後ろの人たちもだ！」

【天梨】

「誰にもメーワクかけたくないし、うちらはうちらだからこれでいいんだけど……なんか損した気分！あとでお部屋着いたらずーっと抱きつく！」

07. えーっ二人で泊まったペンション最高だったよね！

【天梨】

「おっかえりー！ いいお湯だった？」

【天梨】

「ねー！ めーっちゃ広くて気持ちいいお風呂だったよねー！ 食事もおいしかったし、ちよつと高めだったけど、やっぱりここ選んでよかった！」

【天梨】

「てゆか、コテージとかって、前からけっこう憧れててー。童心に帰れるよね。自分で稼げるようになったら、いつか泊まってみたいと思っててさー。みんなでわいわい騒ぐのも楽しそうだし…好きな人と二人きりだとロマンチックだね。静かな山小屋みたいだね？」

【天梨】

「てゆーか聞いて！ プライベートで露天とかつて、インちゅたに上げたらすーっごく反応よくってさー。ねねねほら見て、こんなにいいね貰ってー」

【天梨】

「——っていうか、なんでずっと立ってるの？ こ座ろーよ。ね、となり！」

【天梨】

「ねねね見て見て、お部屋の画像も、夕食の画像も、お風呂の画像も、こんなにいいね付いててさー。クリスマスなのもあって、反応めっちゃくちゃすごくってー……」

【天梨】

「え？ あ、あれ？ かいちよ？」

【天梨】

「あっうん、ぎゅってしてもらえるのは嬉しい…
…好きな人から、好きなときに抱きしめてもらえるなんて、幸せ覚える。えへっ」

【天梨】

「あ、もしかして……お風呂出たときからその気だった？ ご、ごめんね、呑気にインちゅた見てて……あははそーだよ、遊園地……ってゆーか、観覧車でも中途半端だったし……」

【天梨】

「ううん、ぜんぜん……ってゆーか、私も観覧車降りてしばらくとか……お風呂入ってるときとか、ずっと今からすること考えてた。てか、めーっ
ちゃしたかった」

【天梨】

「えーっごめん、なに言ってんだってかんじだよ
ね、私！ ごめーん！ でっでも、私だって……
男の子だけじゃなくて女だって、昼間めーっちゃ
楽しく遊んで、夜こーんなに素敵なお部屋泊まれ
ば……す、好きな人としたいって思うだもん！」

【天梨】

「普段はかいちよーのことエロいエロい言ってるけど……きよ、今日は、私のほうががついてると思われそう。下着もめっちゃ気合い入れてきたし……
今日はすーっごく愛したい」

【天梨】

「ちゅ……れろっ、ちゅっ、ちゅっ……はあっ、
ちゅ、れろっ……」

【天梨】

「はーっ……お風呂のあとだと、やっぱりかいちよーの味しない……えへへ……かいちよーの味好きなんだけどな……れろっ、ちゅっ、れろお……ちゅっ、ちゅっ」

【天梨】

「えっ？　ぺろぺろしてると、ワンコみたい……？　も、もーっ、またワンコ扱いする……。でも言われてみれば、私がワンコを抱っこしてるときも、同じように舐められてる気がしてきた……」

【天梨】

「じゃ、じゃあもう、ほんとのワンコになって、かいちよーに甘えまくるからね！　わたし、めーっちなつについてる自覚あるから！」

【天梨】

「えいえい、ぺろぺろ！　れろっ……れろっ、ちゅっ！　えへへ、かいちよーの顔好き……れろっ、ちゅっ、れろっ……ちゅっ」

【天梨】

「今日は私がほっぺもおでこも独り占め……ちゅっ、ちゅっ！　ううん、今日だけじゃなくて、明日も明後日も、私が独り占め……ちゅっ、大好き……」

【天梨】

「んふー……かいちよーの顔、全部舐めちゃった……もう私の舌が触れてない部分ないからねー。ちゅっ、好き……」

【天梨】

「あ、耳はまだ……あっ、逃げちゃだめ！　ちゃんと最後までワンコと遊んであげるのも、飼い主の責任だよ！」

【天梨】

「え？ ワンコを飼ってもないのに知ったかぶり？
いいもーん、ワンコの気持ちはワンコにしかわ
からないんだよー」

【天梨】

「私、かいちよーのくすぐったがる顔、大好きだか
らねー……ね、ね？ ペろペろさせて……甘えさ
せて」

【天梨】

「れろ……あつ、くすぐりたい？ えへへ、愛し
いー……好き……れろっ、れろ、れろっ……」

【天梨】

「私もねー……自分がかいちよーにこれされると、
ゾクゾクってして……全身が敏感になって……乳
首、立っちゃって……アソコ、濡れてきちゃうん
だあ……」

【天梨】

「かいちよーも大きくなってる？ へへ……れろ、
れろっ……辛いなら出しちゃう？ ん、手、届か
な……かいちよー、もっと体丸めて……あ、自分
で脱ぐ？ そのほうが早いなあ……あはっ、あは
はっ」

【天梨】

「じゃあ耳舐めながら、手でこすってあげるね……
れろっ、れろお……ごしごし……痛かったら言っ
てね……れろっ、れろお……やつ、かいちよー、
すっごく大きくなってる……かわいい……じゃな
かった、愛しい」

【天梨】

「はあっ、はっ、れろお、れろっ……はあっ、おち○ちんこするの下手だったらごめんね……ちゅっ、れろっ……はあっ、私のぺろぺろで大きくなってる……嬉しいなあ……」

【天梨】

「れろっ、ちゅっ」

【天梨】

「はあ……かいちよーが気持ちよさそうにしてくれるの嬉しい……はあ、はあっ……好き……れろっ……」

【天梨】

「はあっ、我慢汁出てきた……えへへ、くりくり……きもちい？ れろっ、ちゅっ……はっ、はあっ……」

【天梨】

「そーいえば、観覧車でディープキスもしたよね……場所が場所だから我慢したけど、もっと続きたかった……今、しちゃうね……」

【天梨】

「んむっ、ちゅっ、んむう……れろっ、んちゅうう……れろっ、ちゅっ、れろお……ちゅっ、んちゅっ、れろお……」

【天梨】

「はっ、はあっ……れろっ、ちゅっ、んちゅっ……れろ、はっ、はあっ……かいちよー、キス好き？ 私は大好き……てゆか、頭撫でられるのも抱きしめられるのも好きだけど……やっぱりキスが一番好き……ちゅっ、ちゅうっ……」

【天梨】

「んちゅ、れろっ、はあっ、んちゅうう……れろっ、ちゅっ、はあっ、はあっ……ちゅっ……えへへ、キスでこーんなに大きくなってる……」

【天梨】

「かいちよー……挿れていい？ キスしながら挿れてもらったら、すっごく気持ちよさそう……えーっ、だって今日はすっごくシたかったんだもん……いっぱいエッチして、いっぱい愛しあいいたい……」

【天梨】

「あ、でも、その前に……はっ、はあっ……いま、口の中に、たーっくさんぬるぬるしそうな溜まってるからー……」

【天梨】

「これ、いーっばい付けてあげるね……そのほうが挿れやすいかなって……ほら、かいちよーのべつとべと……」

【天梨】

「えーっ、これ手でこすったらイツちゃう？ 出ちゃう？ うわ、めーっっちゃエロい音出てる。『ぐちゅぐちゅ！』って……」

【天梨】

「はあっ……フェラもしてあげたいんだけど、ごめんねかいちよー、今日はキスたっくさんしたいから……フェラしたあとでキスするの嫌だよね？ 1回出したあと、何時間でもしてあげるね」

【天梨】

「じゃ、じゃあ、挿れるね……えーっ、けっこう我慢してたから、ヤバそう……わ、私のほうこそ、すぐにイツちゃわないといいなあ……」

【天梨】

「んっ！ やあ……んっ！ やあっ、一気に奥まで入ってきたあ……やつ、あっ、きもちいい……やつ、はあんっ！」

【天梨】

「ふえええ、かいちよー……やっぱいくらいきもちいいよお……ああっ、はっ、あああっ……やつ、あっ、やんっ！ あんっ！」

【天梨】

「はあっ、やんっ、ああっ……きもちいい、あッ！ やっ、めーっちゃ中、ギチギチに詰まって……あッ、やばっ！ あっ、やあんっ！」

【天梨】

「はああ……やんっ、きもちいい……やあっ、頭真っ白になる、かいちよーのことしか考えられなくなるう……やあっ、やらしいことと愛しいのか、頭の中からなくなっていく……」

【天梨】

「ううっ、好き……んちゅっ、ちゅっ、ちゅっ……れろっ、ちゅっ……んちゅ！ ちゅっ！ れろっ、んちゅ、れろっ、ちゅうっ……んちゅ、れろっ、はッ、はあっ……あっ、やんっ！ あっ、んくうッ……」

【天梨】

「あーっ……さ、最高……！ えーっ、二人きりのお泊リエッチ……あっ、やうんっ！ あっ、はあっ……時間気にせずに、好きなだけエッチできるの幸せ……」

【天梨】

「やあっ、かいちよー好き好きっ……！ やんっ！
やっ、はあッ……あっ、やあっ！ 奥まであ
たってやばいよお……あっ、ああっ、そこ、いい
ッ……！ やばっ、あっ、イツちゃう……！」

【天梨】

「ああッ！ あっ、やあっ、んッ、ああッ！ やあ
んっ、かいちよー、そこよすぎッ……！ あっ、
ああッ、やっ、だめえ……気持ちよすぎて、キス
できない……ぺろぺろできない……ワンコでいら
れなくなるう……！」

【天梨】

「あっ、ああっ、やっ、やあんっ！ あっ、激しッ
……！ そこ、だめえっ！ あっ、やばっ、ん
ッ！ 無理無理、あッ、イツちゃう、あっ、や
んっ！ あッ、ああっ、やあんっ！」

【天梨】

「ああッ、あっ、やばあ……いっ！ ひゃんっ！
んッ、やあっ、んっ、くう……んっ！ ひゃっ！
あっ、ああっ、やあっ、鳴いちゃうっ……！」

【天梨】

「やあん、いじめないでよおっ……！ そこグリグ
リだめえっ……！ あんっ！ やっ、ひゃんっ！
ひうッ、あっ、やあっ……んっ！ んッ、う
んっ！ くうんっ！」

【天梨】

「ふえええ、きもちいいよおっ……えっますます犬
みたい……？ ば、ばかあっ……いじわるう……
んッ、もうっ……！」

【天梨】

「れろっ、れろ、れろっ……はッ、はあっ……ちゅっ、れろお……れろっ」

【天梨】

「やっ、ううんっ！ 好きっ、大好きっ！ んっ、キスしたい……」

【天梨】

「んちゅっ、ちゅっ、ちゅばっ、れろっ……ちゅっ、んちゅううう……れろっ、ちゅっ、れろ、れろっ……やっ、うんっ！ やっ、あ、はッ……！ ひゃんっ！ やっ、やあっ、鳴いちゃう……かいちよーのワンコになっちゃう……！」

【天梨】

「やんっ、きやんっ！ あっ、やっ、イク、イツちやう……！ あっ、やうッ、あっ、ひゃああんっ！ んくッ、あっ、イクっ、あっ、やうんっ！ わんっ！ きやんっ！」

【天梨】

「あっ、ああっ、おま○この中、きもちいいっ……あっ、やあっ、だ、だあって、きもちよすぎて……あっ、やあああんっ！ あっ、だめえっ！ いま胸吸っちゃだめえっ……！」

【天梨】

「やあっ、あっ、だめえっ！ かいちよー、許して……あっ、やああんっ！ イツちやう、イツちやうよおっ……！ かいちよーといっしょにイキたいのに……やんっ！ 胸も、おま○こもいじめられたら、イツちやう……！」

【天梨】

「えっ……ち、ち○ちんポーズしたらいいじめるのやめる……？ ううう、ヘンタイだあ……かい
ちよーエロすぎ……いじわる……でも、大好き……」

【天梨】

「うっ、うう……は、はい、ち○ちん……あっ、やあんっ……！ かいちよーのち○ちん挿れられながら、ち○ちんポーズ……ううっ、恥ずかしいよおっ……！」

【天梨】

「えっ……やあっ、ひゃあああんっ！ やっ、かいちよー、もっと激しくっ……やあっ、うそつき
いっ……！ も、もっと激しくなってるよおっ！
さつきよりっ！」

【天梨】

「えっ、かいちよー、イキそうなの？ そ、それなら……いっしょにイけるなら……う、うんっ！
ぜんぜん、激しくしていいよっ……！」

【天梨】

「やあっ、ああッ、やっ、やああんっ！ あッ、好きっ……やんっ！ きもちいいのも、かいちよーのことも好きっ……！ やんっ！ あ、もっとい
じめてっ……あ、やんっ……ひあんっ！」

【天梨】

「やあっ、イツちゃう！ イツちゃう……ああっ、やっ、んッ！ う、うんっ、あと少し……我慢するう……んっ！ あんっ！ やっぱりだめえっ！
あんまり我慢できないよおっ！」

【天梨】

「あっ、やつ、イクっ……ひうッ、うんっ、がんばるっ……！ で、でも、あんまり長くもたないかもっ……ひやつ！ あ、やあんっ……！ んうッ、やつ、きやうんっ！」

【天梨】

「はあっ、イツちゃう、やあっ、そ、そんなに、いじめないでえっ……！ んッ！ ああっ、やつ！ うっ、ううっ、うんっ、うそっ……そこグリグリされるの好き……もっといじめてっ……！」

【天梨】

「ああっ、やうっ、やあっ、ごめんっ、もうイチちゃ……！ あッ、きやううんっ！ やんっ！ あっ、イクっ、あっ、ごめんねもうイクっ！ あっ、やつ、いっしょ……いっしょがいいっ！ やっ！ 好きだから、いっしょがいいよおっ……！」

【天梨】

「で、出る？ かいちよーも、もう出る？ いっしょにイこ？ いっしょがいいっ……やんっ！ わたし、もうイクからっ……いっしょにイこうねっ！ 好きなひとといっしょがいいっ！」

【天梨】

「あっ、やつ、イクううううっ！ ひやああああああんっ！」

【天梨】

「やあっ、あっ、きもちいいいいっ！ あっ、やあっ！ かいちよーのすっ……やつ、ひやううんっ！ あ、いっばい出てるっ……やあっ！ 中、いっばい出てっ……！」

【天梨】

「ひゃふッ……ご、ごめん、わたしまだしびれてて……やっ、うんっ！ やあっ、きもちいいのがまだ抜けない……やあっ、ずっと幸せ……すっごく愛しいのが溢れてる……」

【天梨】

「ちゅっ……ちゅっ、んちゅっ、ちゅっ……好き……ちゅっ、かいちよー、好き……大好き。私の一生分、大好き……」

【天梨】

「はーっ……やっぱ、もう力はいんない……期待してたのもあったけど、きもちよすぎ……こんなに全力エッチしたの、文化祭のあとくらいかも……」

【天梨】

「でもこのあと、朝までいっしょにいられるのが、すーっごく幸せ！ えへへっ、ずっとくっついてたい！ 1秒も離れたくない！ えっ、トイレ……は、無理！ それだけは別別！」

【天梨】

「お風呂もプライベートだし、あとでいっしょに入りにいこーねっ！ えっへへー、お泊りデートさいっこー！ また機会があって、都合がついたら、お泊りデートしようねっ！ 夏は海行きたいし、冬は山行きたい！」

【天梨】

「お泊りデートでしたかったこと全部できた……
え？ ワ、ワンコの真似？ い、意地悪いわない
でよー！ で、でも、かいちよーの前でワンコに
なるの、そんなに嫌いじゃなかったりする……わ
んわんっ！」

08. えーっかいちょーエローい超エローい！

【天梨】

「かーいちょっ！」

【天梨】

「あはは、びっくりした？ ん？ 入ってくるとは思わなかった？ んーだって、せっかく部屋付きの露天なんだしさー。いっしょに泊まってるんだしー」

【天梨】

「えー？ 恥ずかしいってゆーか、愛しさが勝りすぎて、くつつきたい気持ちのほうの上みたいかな？」

【天梨】

「てゆか昨日の夜あれだけ激しくエッチなことして、今さら恥ずかしいもなくなる？ あははっ！」

【天梨】

「んーでも、かいちょーの背中見て、マップはさすがになーって急に怖気づいたから、こっち向かないでね」

【天梨】

「ん、タオル？ 入ったときは巻いてたけど……やっぱり直接くつつきたくなって、いまはマップ。ねーっ、チョクで肌触れあわせんのヤバイよね。めっちゃ押しつけてるもん、照れる照れる」

【天梨】

「てゆかこれ、なんかお店みたいじゃない？ 実際のお店ってこんなかんじ？ えーっ知らない知らない、私が知ってるはずないじゃん！ えーっなんで質問した私が質問されてるの、えーっ」

【天梨】

「あったまきた、めっちゃお店感出す」

【天梨】

「お客さまー、体を楽にリラックスしてー……ってこれ違う？ 別のお店になってる？ ねねね、ちよつとボディソープとって」

【天梨】

「なんだっけ、体にソープ付けて背中を擦るみたいな？ ちよつと待ってねー……」

【天梨】

「準備できた！ こーやって後ろから抱きついてー……」

【天梨】

「ほら、ぬっちよぬっちよ……えーっ、これめっちゃエロくない！？ えーっなにこれやばーい！これ考えた人エロくない！？ えーっめーっちゃ音するー！ エローい！」

【天梨】

「えーっなんか、してる側もエロい気分になるー……えーっ……」

【天梨】

「えーっ……やっぱ、すっごく高まるじゃん……みんなのお店で綺麗なお姉さんにされたら、絶対我慢できなくなるよねー……」

【天梨】

「えっ！？ わ、私だって、そんなお店行ったことないよ！ 知り合いに綺麗なお姉さんだっていないし……きよ、教室でみんなが、こんなことするらしいって話してたからー！ 信じてよー！」

【天梨】

「あっ！ てゆーかがつつり大っきくなってる！ か、かいちよーだってエロい気分になってたんじゃーん。昨日あれだけたーつくさんしたのにさー。かいちよーエロすぎー、えろえろー」

【天梨】

「うん、私もエロいことしたくて、こーやって絡んでるんだけどねー。でもそれ以上に、じゃれあうのが楽しいからー。こういうの好き、えへへ」

【天梨】

「ねねね握ってもいい？ てゆーか、洗ってもいい？ 手にいっぱい泡付いてるしさー……」

【天梨】

「かいちよーの、すっごく大きくなってるー……わ、わ、めっちゃ硬ー……痛かったら言ってね？」

【天梨】

「え、気持ちいい？ てゆか、すーっごくエロい音するじゃん……えへへ、かいちよーのおち○ちん、泡まみれだー……」

【天梨】

「なんかぬるぬるすぎて、ぜんぜん握ってるかんじしなーい、あははっ。えい、全部撫でまわしちゃえ。え、気持ちいい？ すごく？ えーっやつばいな、もー……」

【天梨】

「ん、なに？ もっと胸押しつけて？ あーっ、だんだん図々しくなってるなこらー。でもいいよ、かいちよーが喜ぶならなんでもしたげる……胸、けっこう自信あるしね！」

【天梨】

「てゆか、これだけぬるぬるだと握られてるかんじ
しくない？ 両手で握っちゃおっと……
えーっ、すっごくぐちゅぐちゅいってる……えっ
ろ……」

【天梨】

「えっ？ この先端強く握ったほうがいい？ う
ん、いいよ……え、こっちの手で袋揉むの？
もー……でもいいよ、いっぱいしたげる」

【天梨】

「やっぱー、私のほうがコーフンしてるかも……」

【天梨】

「なんか……いつも私のほうがイジられてるから
……今日は私がー……へへー……」

【天梨】

「れろっ」

【天梨】

「えっへっへー、びっくりした？ 耳舐められる
と、すっごくくすぐったいよね。わかるー！」

【天梨】

「私もかいちょーに耳を舐められると、事前に舐め
られるってわかってても『やっため、我慢できな
い！』ってなっちゃうからさ」

【天梨】

「だけど、すっごく感じるから……かいちょーも
いっぱい感じて？ 手でしながら舐めたげる……
…」

【天梨】

「れろっ、れろっ、れろお……れろっ、れろっ、は
ッ、はあっ、れろお……れろっ」

【天梨】

「はっ、はあっ……わ、やばあ……耳舐めるたびに、かいちよーのここ硬くなるの興奮するし……息漏れるのもすっごくコーフンする……反対側の耳も……」

【天梨】

「気持ちいい？ 我慢できない？ でもこうしてると、ワンコになって尽くしてるみたいで楽しい……へへっ」

【天梨】

「れろっ、ちゅっ……へへっ、今めーっちやハッジョーしてる……エロいわんこでごめんね、れろっ、れろっ……」

【天梨】

「はーっ……えへへ……ちゅ、ちゅっ……」

【天梨】

「我慢できない？ もう出したい？ 耳舐めながら出したら、どーなっちゃうんだろってキョーミあったけど……」

【天梨】

「でも、昨日の夜もいっぱい出したし、朝から何度もは大変だよな？ 耳だけでイッちゃったら寂しいだろうし……お口で上げたげるね」

【天梨】

「めっっちゃ大っきくなってるー……かいちよー、口でされるの大好きだよな」

【天梨】

「私もしてあげるの好きなんだけどね！ だって期待されるの嬉しいし……あ、こんな会話してたら、せっかく硬くなってるのに元気なくなっちゃうよね」

【天梨】

「ソープだけ落とすから待っててねー……」

【天梨】

「えーっこうして洗ってあげるの、お店感あるー！」

【天梨】

「ん？ どしたの、かいちょ？ え、もしかして、シャワー当たるの気持ちいいの！？」

【天梨】

「えーっ、男の子のって、そんなに敏感なんだー……えっ？ わ、私は意識したことない……ど、どーだろ……当てたら、私も気持ちいいのかな……」

【天梨】

「でも今は、かいちょーにお口でしてあげるのが先……洗いながしてあげるね……ん？ 撫でられるの気持ちいい？」

【天梨】

「へへー、キレイキレイにしてあげる……好きな人の大事な部分だもんね」

【天梨】

「うん、キレイになった！ 舐めたらまた汚くなっちゃうけど……またあとで洗ってあげるね」

【天梨】

「じゃあ……あむっ」

【天梨】

「んむっ、ちゅうっ……んちゅうっ、れろっ、れろお……んちゅっ、れろっ、れろお……」

【天梨】

「んちゅっ、れろっ、んちゅっ……れろっ、ちゅっ、れろお……はっ、はあっ、あむっ……んちゅっ、れろお……」

【天梨】

「はっ、はあっ……な、なーんか、二人きりの温泉で、朝からこーやってフェラしてるの……すっごくやらしーカンジするね……」

【天梨】

「や、やらしーとも違うのかな？ だらしないってゆーか……かいちょーとだらしない生活してみたいなーって……えへへ」

【天梨】

「起きてから寝るまで、ずーっとこんな風にエッチしながら過こしてさ……ずっとくっついてたいかも……あむっ」

【天梨】

「んむ、ちゅっ……んちゅっ、じゅぶっ……じゅるっ、ぢゅぽっ……んじゅぶっ、じゅぶっ……んじゅ、ぢゅうっ……じゅぽっ」

【天梨】

「はっ、はあっ……せっかく洗ったのに、つばいっぱいつけちゃった……へへっ、ちゅっ」

【天梨】

「ねねね、このままお口で出させてあげたい気もするんだけど……私のほうがしたくなっちゃった。かいちょーの……挿れて」

【天梨】

「あっ！ やっ、後ろから……た、確かにこのほうがワンコっぽいかんじするんだけど……うう」

【天梨】

「んッ、はあっ……やつ、か、かいちょー……？
なんで挿れてくれないの……んッ！ やつ、入り
口で擦るのため……やんっ！」

【天梨】

「じ、焦らさないでよーっ……やつ、そこ擦られる
のやだあっ……そんな、気持ちいいことされたら
『待て』できないよおっ……」

【天梨】

「やあっ！ ひやつ、やんっ……！ ちゃ、ちゃん
とおねだりするから、挿れて……？ ね、ねっ……
……？ 私のおま○こにかいちょーのおち○ちん挿
れて……」

【天梨】

「きやふっ！ やつ、んふうッ……んッ、やつ、
は、入ってきたあっ……！ やつ、我慢した分、
すっごく気持ちいい……！」

【天梨】

「あっあっ、やつ、やああんっ！ そんな、ズボズ
ボしちややだっ……！ いきなり激しすぎっ……
や、やあんっ！」

【天梨】

「はあッ、あっ、やあっ……やんっ！ あッ、や
ばっ、あっ、やんっ！ くう……んッ、やんっ！
あッ、きやうんっ……やん、やあんっ！」

【天梨】

「やあっ……お、お互いマップで濡れたままエッチ
するの……な、なんか、気分がエロくなりすぎて
ヤバすぎっ……！」

【天梨】

「やつ、お尻撫でないで……やんっ！ やつ、奥気持ちいいっ……ひあっ！ ズボズボするののためっ……！」

【天梨】

「えっ？ う、ううん、ほ、ほんととはだめじゃない……き、気持ちよすぎて我慢できないから……やんっ！ もおっ、かいちょーのイジワル……！ そんなこと聞かないで……！」

【天梨】

「やあっ、あっ、あああッ、ひやうんっ！ きやふッ、あっ、やあっ……！ きもちいいッ、あっ、やあっ……頭の中とろけるくらいきもちいいッ……！」

【天梨】

「あッ、やあっ……ううッ、きもちいい……！」

【天梨】

「ううッ、きもちいいから……やっぱり、かいちょーの顔みたい……んッ！ あっ、やんっ！」

【天梨】

「やあっ、横から挿れてもらうのも、いいッ……やっ！ な、なんだか、当たる場所が違って……こ、この格好でするのも、すっごく気持ちいいかも……！」

【天梨】

「ああッ、んッ！ はッ、やあっ、すっ……あっ、ああっ、わたしっ、イきそーになってるよ……！ やっ、あッ、すっごく深くまで入って……あっ、やんっ！」

【天梨】

「あッ、はあっ……！ ひうッ、イクイク、かい
ちょー、わたし、もうイクっ……！ イきそっ……！」

【天梨】

「やあうッ、んッ、あっ、イクからっ……か、かい
ちょーの膝の上がいい……顔、見ながらイキたい
……キスしたい……ひゃんっ！」

【天梨】

「わあっ！」

【天梨】

「ひゃあっ、あッ、かいちょーの膝の上……んッ、
あっ、ありがと……やっ！ ここなら、イクとき
もいっぱいキスできるね……」

【天梨】

「んむっ、んッ、ちゅっ、んちゅうっ……ちゅっ、
ちゅばっ、ちゅっ、んちゅうううう……れ
ろっ、ちゅっ、ちゅばっ、はッ、はあっ、あっ、
やんっ！ あっ、はあっ……」

【天梨】

「んちゅ、むちゅうううう……ちゅっ、好きっ、
ひあっ、あんっ！ ちゅっ、んちゅ、ちゅばっ、
んちゅ、はあっ、んちゅ、やあっ、あッ、あああ
あっ、やっ、イクっ、あんっ！」

【天梨】

「あっ、やあっ、すっごいつ、やああんっ！ あッ、
なにもっ、気にしないで、マッパで抱きあえるの
……やんっ！ すっごい密着度……はあっ、エロ
すぎてやばーい……やんっ、きやうんっ！」

【天梨】

「やあっ、せつなっ……やっ、好きっ、んっ！ ああッ、やっ、はあっ、イキそっ、あっ、やああんっ！ あッ、はあっ、イクっ、あっ、ああっ、ひあんっ！」

【天梨】

「やあっ、すごいきた、あッ、イクっ、あっ、ああッ、やっ、かいちよっ、あっ、やっ！」

【天梨】

「キス、したいっ……ちゅっ、んちゅっ、んんんッ！ あっ、ごめんイクっ、あっ、あああッ！ イクっ、ごめんね、わたしイクっ……あっ、ああッ、あああああッ！」

【天梨】

「あっ、やあっ！ イクうううううううっ！ やんっ、きもちいいっ！ あっ、やあっ、中出てっ……ひゃああああん！」

【天梨】

「やあっ、きもちすぎてやばいよおおおおっ！ やあああんっ！ イクっ！ イッてるううううっ！」

【天梨】

「ああっ、やっ、あっ、あああああっ……ひあっ！ あっ、まだイッて……やっ、やああんっ！ あひッ、んっ、ああっ、まだイッてるう……あ、やんっ！」

【天梨】

「うっ、ううっ、きもちいい……よかった……朝からすごいエッチしちゃった……もうこのあと、なにもする気起きないかも……」

【天梨】

「でっ、でもっ、今日はあと帰るだけだし、出発時間まで抱きあったままで、バス待ってる間も、ずっと二人で景色見てる……ってのもいいかも！」

【天梨】

「だって、そのくらいいきもちよかったからさ……気力体力ぜんぶ使っ……」

【天梨】

「え、もう1回する？ えっ、えええええええーっ！ 今から！？ まだ朝なのにな？ えーっ」

【天梨】

「う、ううう……でも、二人で体洗ってたら、またその気になりそうだし……どーせあと帰るだけって考えたら……えへっ、もう1回してもいいかも？」

【天梨】

「露天の温泉でとか、開放感すごいし……こんな機会滅多にないから、いっぱいしちゃってもいいかもだ！ わたしたちまだまだいっぱいしたい盛りだもんね！ ねーっ！」

【天梨】

「いっぱいいいちやいちゃして、いっぱい愛しあつて、いーっぱいいッチなことしよ！ ねっ、かーいちよっ！」

09. 終幕・ワンコのおうち

【天梨】

「付きあってから、いーっぱい思い出作ったよねー……」

【天梨】

「でも、まだまだ二人でしたいことやりたいことがいーっぱいあるんだからすごいよね！」

【天梨】

「二人で出かけるたびに『これ以上好きな気持ちにならない！？』っていつも思うんだけど、それでも、その次に遊んだときは、もっともーっと好きになれるのって不思議すぎる」

【天梨】

「私って、もう恋してるじゃなくて愛してるつもりだったけど……愛に変化したら恋が消えるわけじゃないんだね。まだまだ毎日恋してる！」

【天梨】

「これからもずっと好きでいさせてね」

【天梨】

「あとエッチも……いっぱいしようね。わんわんっ！」

10. 居眠りループ

【天梨】

【天梨】

【天梨】

【天梨】

「好き……くう……」

「ん……すう……」

「くう……」

「ん……すう……」

1 1. わんわんループ

【天梨】

「わんっ……」

【天梨】

「わん、わんっ……」

【天梨】

「わん……」

【天梨】

「きゃんっ……」

1 2. 二度寝用目覚まし

【天梨】「かーいちよっ！ 気持ちよさそうに寝てると「悪いけど、そろそろ起きよ？」

【天梨】「えっもうちよつと寝たい？ えーっでもそれ、時間的にヤバくない？」

【天梨】「仕方ない、ちよつと強引にいくかー……」

【天梨】「かーいちよっ！ 起きて！ 起きよう？」

【天梨】「起きてってば、もーっ！ 起きないとヤバいってば、かいちよーヤバイよ、ちよーヤバーい！ もーっ！」

【天梨】「すぐに起きてくれたらえっちなことさせたげるよ？」

【天梨】「これで起きてくれないならしよーがないか！ また10分後見にくるね！」

演出…「約10分間の無音パートを収録しております。ループ再生などで」自由にお楽しみください。」